

平成 30 年度 事業計画書

施設名	春日学園		
サービス・施設種別	福祉型障害児入所施設		
住所	〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村 65 番地の 1		
連絡先	電話 0795-75-1080 Fax 0795-75-0377		
認可・利用定員等	利用者定員 30 名	職員定数	15 名
事業開始日	昭和 36 年 2 月 1 日		
<p>運営方針</p> <p>春日学園は「子どもの安心・安全・自信・自由」を指針に子どもたちの自己肯定感を育成するため、子どもたち其々の個性を尊重しつつ、自己決定の場を増やし、自立へのはっきりとした意志を育みます。また、「放課後等デイサービス事業」「障害児等療育支援事業」「短期入所事業」「日中一時支援事業」に於いて包括的な地域福祉の具現化に取り組むこととし、30 年度は以下の通り計画します。</p> <p>1. 利用者へのサービス</p> <p>(1) 人権擁護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートの活用 毎月、チェックシートによるご利用者支援の振返りを行うことにより、職員自身の人権意識の向上を目指します。 ・施設内外の研修 人権擁護に関する研修に積極的に参加し、それを施設内研修にて職員全体にフィードバックすることにより、人権意識の向上と虐待防止に努めます。 ・自己決定の支援の取り組み 個別支援計画の計画策定時やモニタリング時はもとより、日常生活におけるあらゆる選択の場面においても、出来る限りご利用者自身の選択の権利を尊重します。 <p>(2) 個別サービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の意向を尊重したケース会議の実施。 事前に会議内容を本人に伝え、聞き取りを行うと共に、決定事項を明確に伝えることにより、利用者本位のサービスの質の向上を目指します。 ・ご利用者・ご家族の希望・要望を把握。 年に数回、自治会やご利用者及びご家族にアンケートによる聞き取り調査を行い、ご希望やご要望を把握し、それらを行事計画や日々の生活面などの支援に取り入れることで、サービスの質の向上を目指します。 ・第三者評価委員会、 昨年度受診した第三者評価の結果を活かして、サービスの質の向上を目指します。 ・マニュアル検討委員会 各支援マニュアルを定期的に見直します。 			

2. 地域で支え合う仕組みづくり

- ・障害児者向けの音楽イベントの実施（サルサガムテープ出演予定）
- ・こども食堂（ポップコーン）の実施（月1回実施予定）
- ・おやこ遊びの実施（就学前児童を年齢別に月3回実施予定）
- ・絵本の読み聞かせ実施（年3回実施予定）

3. 人材育成と人材の定着

- ・法人内外の研修参加
経験年数や職種別研修に参加し、個人のスキルアップに繋がります。
- ・外部講師との事例研究
ソーシャルスキルトレーニングの実践に向けて、外部講師（おひさまにここクリニック八尾先生）と連携し年4回の講習会を実施します。
- ・人材の定着
衛生推進者を中心に働きやすい職場環境づくりに努めます。

4. 健康管理・災害訓練等・会議

実施月	健康管理	災害訓練	会議
5月	健康診断（利用者・職員）・ 結核健診（職員）	法定点検【届出】	
6月	腰椎健診（職員）	総合防災訓練（避難・消火・通報）	
10月	健康診断（利用者・職員） インフルエンザ予防接種	総合防災訓練（避難・消火・通報） （地元消防団） 法定点検	
1月	腰椎健診（職員）		
毎月	嘱託医往診（精神科） 嘱託医往診（その他の科）	避難訓練・消火訓練	企画職員会議 給食委員会 生活指導委員会 ケース会議 合同給食委員会 学校連絡会
随時	歯石除去・ブラッシング指導		RM会議 人権擁護委員会 第三者評価委員会 マニュアル検討委員会 防火管理委員会 判定会議 各機関との調整会議

5. 職員研修

実施月	研修名	内 容	備 考
4 月	諸規則・業務について 個人情報及び権利擁護 虐待防止について	諸規則・業務マニュアルの説明 利用者への対応や言葉かけ 施設内虐待の防止	新任職員対象 全職員対象 全職員対象
5 月	事例研究 安全運転研修	おひさまにここクリニック講師 交通安全について（免許証・任意保険 証確認）	全職員対象 全職員対象
6 月	防火・防災講習	防火・防災に関する講習	全職員対象
7 月	業務の振返り	着任 3 か月を経過しての疑問等	新任職員
9 月	事例研究 救急救命講習	おひさまにここクリニック講師 てんかん発作時の対応・酸素吸入器・ A E D の取扱い等	全職員対象 全職員対象
10 月	業務を通じての疑問点	着任 6 か月を経過しての疑問	新任職員
11 月	虐待防止について	施設内虐待の防止	全職員対象
12 月	事例研究	おひさまにここクリニック講師	全職員対象
2 月	事例発表会	おひさまにここクリニック講師	全職員対象

※防犯研修については、春日育成苑と合同開催予定。

施設外研修

専門職育成計画として、今年度も児童発達支援管理責任者研修に 1 名を予定しています。また、昨年度と同様に自閉症や発達障害、こども達の心のケアに関する研修や、県内児童入所施設（同種事業所）等への見学も行います。栄養士については栄養クッキング教室等の実践的な研修に参加します。

昨年度に引き続き、児童発達支援管理責任者のレベルアップのため、兵庫県児童発達支援部会の交流研修にも参加することとしています。

6. 行事計画

実施月	行事名	実施場所	内容・ねらい等
4 月	入学お祝い会	施設内	入学児童のお祝い
5 月	春の里フェスティバル	施設内外	地域・家族・施設間交流
7 月	七夕祭	施設内	季節行事
	蛍観賞	春日町内	季節遊び
8 月	海水浴、プール	兵庫県内	季節遊び
	一泊旅行	兵庫県内	教養娯楽
	地区夏祭り	春日町内	地域交流事業
9 月	音楽イベント	丹波市内	地域交流事業
10 月	春の里スポーツの集い	施設内	施設間交流事業
	棚原地区祭礼	春日町内	地域交流事業

11月	ウォークラリー	施設内	体力作り
	バス旅行	姫路セントラルパーク	教養娯楽
12月	クリスマス会	施設内	季節行事
1月	書初め	施設内	季節行事
	初えびす	春日神社	季節行事（地域交流事業）
2月	ウインタースポーツ体験	丹波市	教養娯楽事業
	節分祭	施設内	季節行事
3月	ひな祭り	施設内	季節行事
	修卒お祝い会	施設内	修卒児童のお祝い
随時	春日地区更生保護女性会	施設内	地域交流事業
	地域イベント参加	丹波市内	リクエスト行事
	お菓子作り	施設内	自立訓練
	調理実習	施設内	自立訓練
	ドライブ	丹波市内	リフレッシュ行事

7. 広報啓発活動

区 分	内 容
種 類	春日学園広報誌・放課後等デイサービス広報誌・ホームページ・ブログ
発送先	保護者、市社協、大学等、こども家庭センター、支援学校、県内児童施設他
発行月	毎月
部 数	100部（広報誌）
内容等	施設の近況報告（事業の予定と報告、児童の状況、苦情・要望の受付と報告）

8. 資金収支計画

平成30年度資金収支予算書（案）の通り